

第1回  
市民説明会2015年4月4日(土)  
10:00~12:10保健センター  
3階 講習室

出席者: (敬称略、順不同)

桶川市(O)	小沢
総務部長	白根、野本、園田、大嶋
総務部新庁舎建設推進課	
日本設計(NS)	4名
市民参加者	22名

管理技術者:

記録:

## 項目

1

## 議事

## 発言者

## 開会・あいさつ

- 桶川市新庁舎建設基本設計(案)「市民説明会」にあたり、小沢総務部長より挨拶。以下、要旨。

→ 昨年の9月より桶川市新庁舎建設基本計画に基づき、市民と共に絆を育む安心・安全な新庁舎建設を基本理念といたしまして6つの整備方針を掲げてまいりました。

- ①防災拠点となる安全な新庁舎
- ②市民が利用しやすい人に優しい庁舎
- ③市民に開かれた庁舎
- ④環境にやさしい庁舎
- ⑤将来の変化に対応できる庁舎
- ⑥桶川らしさを感じられる庁舎

これらの6つの整備方針を軸に、新庁舎建設基本設計(案)を検討してまいりました。その中で、概算工事費が当初予定していた額と若干隔たりが生じたため、当初2月に予定しておりました市民説明会を延期させていただき、時間を要してでも工事費の縮減を可能とする基本設計案の見直しを進めてきたところでございます。

基本設計(案)がまとまりましたことから、4月6日からのパブリックコメント(以下、パブコメ)に先立ち、皆さま方の貴重なご意見をいただきながら、桶川市にふさわしい桶川市役所新庁舎建設につなげてまいりたいと、今回このような市民説明会を3回開催することとしたものでございます。職員一同、当初のスケジュール通り、平成30年4月の新庁舎完成へ全力で取り組んでまいりたいという所存でございます。

- 出席者(桶川市、日本設計)の紹介。

桶川市

2

## 内容

(1)はじめに

- 新庁舎建設計画の経緯について説明。
- 新庁舎建設基本計画の概要について説明。
- 新庁舎建設基本設計案の概要について説明。
- 以上3項目は、【参考】桶川市新庁舎建設基本設計(案)市民説明会説明資料を参照。

(2)桶川市新庁舎建設基本設計(案)について

- 5つの新庁舎設計の考え方に沿って、基本設計(案)について説明を行った。

1. 立地特性・周辺環境等に配慮した庁舎
2. 防災・災害復旧拠点としての役割を果たす庁舎
3. 建設コストの縮減及び維持管理の容易性やランニングコストの低減に配慮した庁舎
4. 自然エネルギーの活用や省エネルギー化等による環境負荷の低減に配慮した庁舎
5. 市民が利用しやすく、時代の変化に柔軟に対応可能な庁舎

→ 【参考】桶川市新庁舎建設基本設計(案)市民説明会説明資料を参照。

(3)今後の流れ

- 今後の流れ(パブコメ以降)について説明を行った。
- パブコメ期間は、平成27年4月6日(月)~5月8日(金)。その後、寄せられた市民意見を取りまとめ、修正可能な項目について検討や変更を行い、6月末には基本設計の確定を予定。市民説明会説明資料(パワーポイント)を市HPに掲載。
- 基本設計確定後は工事発注のための実施設計に着手。工事発注を経て、遅くとも平成30年3月末には工事を完了し、仮設庁舎からの引越しを行い、平成30年5月の連休明けより新庁舎での業務開始につなげていく予定。

桶川市  
桶川市  
桶川市

日本設計

桶川市

3

## 質疑応答

- 工事車両計画(運搬経路)に配慮してもらいたい川田谷泉線の利用を避けた計画としてもらいたい。
- 工事発注後に搬入ルート等の調整を行う。現時点では確約できないが、車両の通行時間や大型車両の利用を避ける等して、振動や騒音が発生しないよう、周辺に影響が無いよう最大限配慮します。
- 2階情報コーナー内にFM局とあるが、開設するのか。年中を通して放送を行うのか。
- 当初コミュニティFM局を想定していたが電波利用等の状況が厳しいため、防災情報を流すなど、防災無線に代わるFM局となるかも知れない。新庁舎の中でスペースを確保し、また関係部署との調整は行いが、開庁に合わせてのFM開局は困難ではないかと考えている。
- 1階駐車場60台とあるが、青空駐車場は確保しているのか。
- 駐車場60台は青空駐車と併せての計画である。青空駐車部分で25台程度である。加えて、道路を挟んで線路側の敷地に駐車場約50台を整備する予定である。
- 首都圏や関東圏に2階に窓口を配置した庁舎事例はあるか。
- 甲府市役所(山梨県)が挙げられる。実際に視察に行った。1番のポイントは、コンシェルジュと呼ばれる1対1で対応するフロントを整備し、的確で丁寧な対応を行うことで苦情等はほとんど無いとのこと。このような事例も踏まえて、2階窓口方式の採用を決定したところである。

市民参加者

市民参加者  
桶川市市民参加者  
桶川市市民参加者  
桶川市

→ 甲府市役所は弊社で設計を行いました。1階に市民開放スペース、総合案内、エスカレーターを設け、非常にオープンなスペースとしています。2階に上がると窓口カウンターで待合を取り囲むスペースとしています。甲府市役所以外にも他事例はあります。エスカレーターを設置して1階と2階のアクセスを良くしていけばと考えます。	日本設計
→ ピロティ部分について補足です。甲府市役所は開庁して間もなく大雪の被害に遭いました。帰宅困難者の方々のためのテントをはったり、救援物資の保管場所として活用しました。ピロティ部分については、お祭りやバザー等色々な面で活用可能と考えます。	桶川市
・ 基本設計成果物の完成時期はいつごろか。 → 6月末を予定している。市民説明会とパブコメを行い、市民の方々の意見を反映したいと考えています。意見を反映する形で修正を行い成果物をまとめるため、基本設計(案)は途中過程であることをご理解いただきたい。	市民参加者 桶川市
・ 当初は税込み32億円でスタートしたのではないかと。予算として計上した根拠を教えてください。 → 基本計画書(平成25年11月)策定までの検討の中で、平成24年11月の全国平均の㎡単価を参考として、庁舎面積8,300㎡として工事費の算出を行った。	市民参加者 桶川市
・ プロポーザル(以下、プロポ)案は32億円をベースにした案ではなかったのか。 → 当初予算を算出した以降にかなりの物価上昇となっていたため、プロポの際に質疑を行っている。「物価上昇については見込んでいない」との回答を受け、プロポ案では物価上昇と消費税増分を見込んだ36億円で提案した。設計業務開始後に経費率の考え方の違いが判明したり、若干の計画変更や追加があり、昨年の秋に41億円という数字を提示した。その後、桶川市より工事費削減の指示を受けて検討を行い、基本設計(案)に至ったところである。	市民参加者 日本設計
・ 基本設計(案)を36.5億円でできるのかどうか。 → 今後の物価上昇や経済状況により、多少の前後があることは想定している。36.5億円に限りなく近づけるよう、努めます。	市民参加者 桶川市
・ 施工予定者技術提案方式の採用等は検討したのか。 → デザインビルド方式の採用について検討を行ったが、設計者と施工者は別として考えている。	市民参加者 桶川市
・ 基本設計(案)がまとまったわりには図面の精度が低いように思う。 → まとまったとは、設計の方向性が決まったということであり、これから後詳細な図面を描き、それに基づいて詳細な見積りを出す段階が残っている。	市民参加者 日本設計
・ 予算想定がアバウト過ぎではないか。36.5億円の概算は何を根拠に算出したのか。 → 下記に挙げる増減を併せて、41億円から足引きした結果の36.5億円である。 ①地下1階を中止したことによる躯体工事(土工事)の削減: -3%(約1.1億) ②駐車場の規模縮小、平面形状のシンプル化: -10%(約4.1億) ③エスカレーター設置: +2%(約0.8億)	市民参加者 桶川市
→ 項目別の金額を説明しているが、現在出している数字は㎡単価で算出した数字ではないか。 → 36.5億の内訳は次の通り。 ①直接工事費: 約26.8億 (建築工事約14.7億、電気設備工事約5億、給排水設備工事約1億、空調換気設備工事約3.9億、昇降機械設備工事約1.2億、屋外施設工事約0.7億) ②共通仮設費: 約1.3億 ③諸経費: 約5.6億 ④消費税: 8%	市民参加者 桶川市
・ 今後の物価等の上昇を考慮に入れないで36.5億という数字を出していると、絶対に増額になると思う。そこをどのようにするのかわからない。 → 36.5億円は2月現在の試算であり、ご指摘の通り、今後若干上がることを想定はしている。天井の仕上げや外壁といった部分で、可能な範囲内でのコスト削減検討を今後も行っていく。	市民参加者 桶川市
・ プロポ時点で32億から36億に上がることを市として了承していたのか。また、全ての業者が36億円の案を提案したということか。 → 基本計画に基づき32億円でプロポ提案をお願いしたが、参加者からの質疑を受けて、消費税率のアップと物価上昇分については今後考慮すると回答している。この回答はNSだけでなく、全ての参加者に対して回答している。市としても必要な上昇分についてはやむを得ないとして想定はしていたが、想定以上の開きがあることが分かったため今回の見直しとなった。	市民参加者 桶川市
・ 当初予算32億円には、将来の物価変動等が考慮されていなかったということか。 → 考慮していない。	市民参加者 桶川市
・ 地方債の返済計画はどのように考えているのか。 → 返済計画については、財政部門と調整を建てている段階である。額は決まっていないが、市民に負担を掛けない形で今後実施していく予定である。	市民参加者 桶川市
・ 工事予算の上限はいくらを見込んでいるのか。 → 具体的な金額については、この場では分からない。できる限り借入額を抑えたいため、限りなく36.5億円に近づけるよう努めていきたい。	市民参加者 桶川市
・ 1階をピロティとしたことによる利用者の不便さをどのように考えているのか。工事費削減のために市民が利用しにくい庁舎とするのであればもう一度計画を見直すべきだと思うが、市としてはどのように考えているのか。 → 1階から2階への移動が手間であるのご指摘だが、相対的には地下1階にあった駐車場が地上1階に上がったという考えで、仮に地下1階に車椅子利用者が駐車する場合は同じような考えとなる。利用者に全く不便を掛かせないとは思っていないが、十分に配慮した誘導ができるよう努めていきたい。	市民参加者 桶川市
・ 駐車台数の需要をどの程度見込んでいるのか。 → 仮設庁舎にて、2月から日に2回の駐車台数調査を毎日行っている。議会開催期間も含めた中で、一番多い日で70台、平均40台と想像より少ないことが分かった。庁舎機能を集約化したことによる職員の利用等が減った効果と考える。こういった中で敷地内駐車60台で支障はないであろうと判	市民参加者 桶川市

